

さい帯血バンクへの臍帯血移植データの報告方法が 2010年7月1日より変更になりました。

これまでの臍帯血移植データ報告方法

1. 100日報告:「臍帯血移植症例調査票」
基本的に調査票に記載して各臍帯血バンクへ郵送
2. 1年目以降:
 - 1)調査票に記載して郵送
 - 2)日本さい帯血バンクネットワークのホームページから入力



2010年7月1日以降の臍帯血移植データ報告方法

1. 100日報告および1年目以降の報告
2. TRUMPに入力
3. 移植施設から学会データセンターへ提出(送付・送信)
4. 学会データセンターから日本さい帯血バンクネットワークへデータを送付

日本さい帯血バンクネットワークにおける移植調査票回収の目的

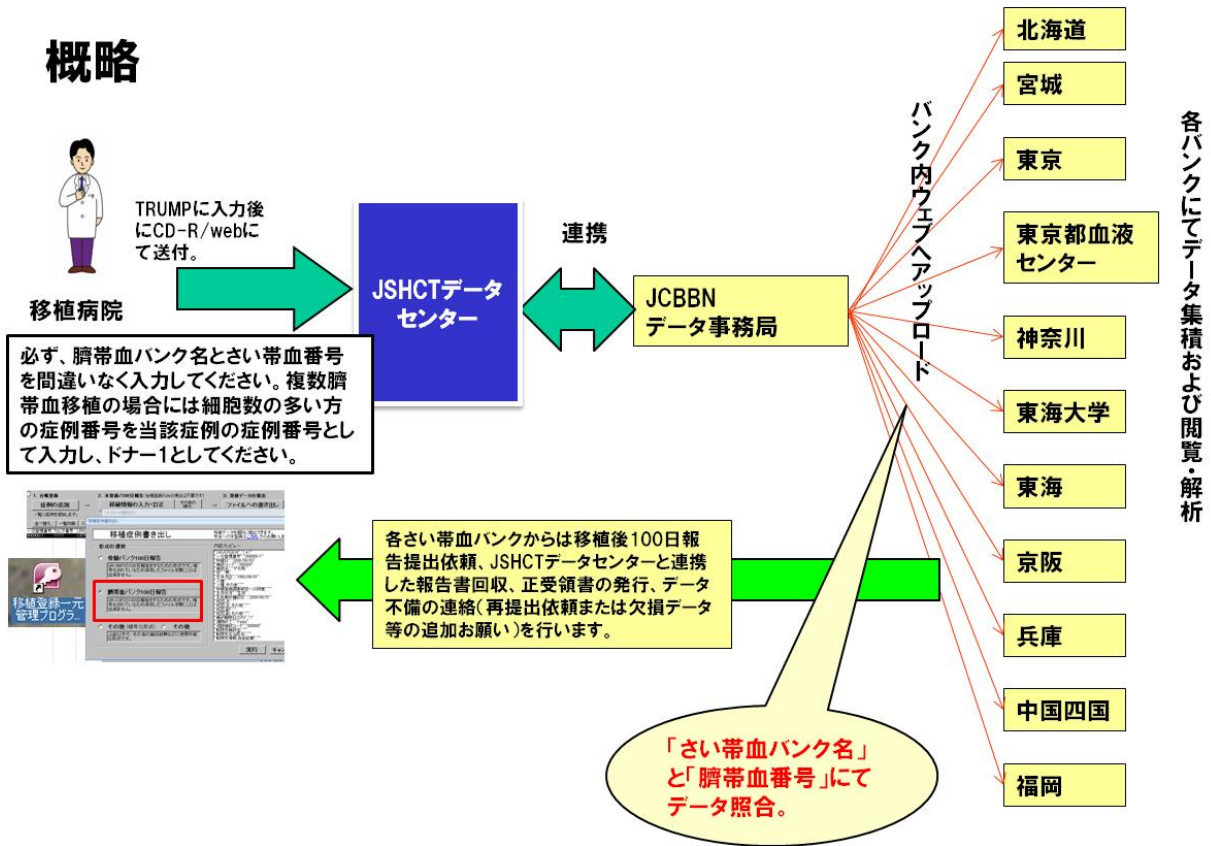
臍帯血移植の品質管理の一環としての有害事象の検討、有効性及び安全性の検証であり、これらの検討によって移植医療の向上と発展に資することです。

また移植データを造血細胞移植学会や移植施設と共有することによって移植データの質(正確さ)の向上と問題点を共有することも目的の一つです。

皆様のご協力をお願い申し上げます。

さい帯血移植データ100日報告収集方法手順

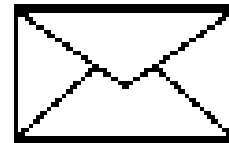
概略



①各さい帯血バンクから 臍帯血移植調査報告(100日)のお願いが移植病院責任医師あてに送られます。



お知らせ
移植後100日後のデータを移植登録一元化プログラム(TRUMP)へ入力してください。
(移植終了報告が完了した移植に対して各移植施設にさい帯血バンクから連絡されます)



なお、1年目以降は1年毎に移植データの仮登録、本登録時にデータを学会データセンターの指示に従ってweb送付登録して下さい。同様に学会データセンター経由で各さい帯血バンクに転送されます。



②移植登録一元管理プログラム(TRUMPデータ)にてデータの入力を行って下さい。特にドナー番号/さい帯血バンク名を間違いないようご注意ください。

移植情報詳細

管理番号: 230402-9 カルテ番号: 7
 氏名: 田高 佐藤 移植日: 2005/10/18

患者基本情報
 疾患情報
 疾患詳細
 移植情報
 <移植方法>
移植種類・ドナー情報
 血型・HLA
 化学療法剤
 放射線
 GVHD予防
 幹細胞採取
 輸注細胞処理
 <移植後血液回復>
 生着・血液回復
 サイトカイン・輸血
 キルガム・二次性生着不全

印刷

※ 異父母

今回の移植

移植種類 臍帯血(CBSCT)

その他 自由記載

ドナー1 ドナー2

ドナー情報 同種_allogeneic

性別 男 体重 99 kg 年齢 20 歳 CMV抗体 無

同種 非血縁

(非血縁)バンク名 **東京都赤十字血液センター臍帯血バンク**

ドナー番号 ? H9993924856

ドナー番号

ドナー種類	ドナー番号	例
血縁者間同種ドナーの場合	学会ドナー番号をご入力ください。大文字の『RS-』で始まる4桁の通し番号をご入力下さい。	RS-0001など
非血縁者間同種ドナーの場合	バンクドナー番号をご入力下さい。『数字(ゼロうめ)2桁-数字(ゼロうめなし)1~6桁』の番号をご入力下さい。	01-234、02-345678など
	臍帯血バンクの臍帯血番号をご入力ください。	HC1584、H199905241E、CB90＊、131-334M、HYGH8811031 F(2)、62-11-0534、0010400-0095、11065など※

※ 各臍帯血バンクにより、番号が多様です。

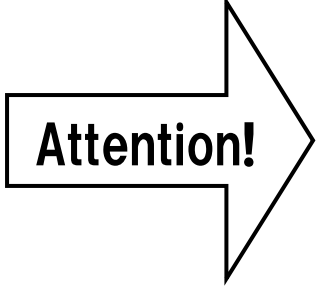
1.各さい帯血バンク名

2.ドナー番号=さい帯血番号

★JCBBNさい帯血番号(各臍帯血バンクから提示されたさい帯血番号をドナー番号として入れてください)

今月 移植100日後となる患者さん 一覧(敬称略)

移植日	さい帯血バンク名	症例番号(さい帯血バンク)	患者氏名	臍帯血番号	移植担当医師
2010/4/1	XXX	CBT0720100021	白鳥 太郎	H200909011211B	



☆さい帯血番号ID(=ドナー番号)
 ・各さい帯血バンクによって臍帯血番号(ドナー番号)の記載方式が異なるのでご注意ください。
 ☆複数さい帯血の場合には細胞数が多いユニットをドナー1として下さい



移植情報詳細

管理番号: 000000-1 UPN: CBT0001
 氏名: 伊香健太郎 移植日: 2006/08/03

編集ロック 印刷 入力チェック・保存 閉じる

患者基本情報
 疾患情報
 疾患詳細
移植情報

管理番号
 JMPP患者ID
 JMPP症例番号

症例番号(臍帯血バンク) **CBT0720100021** earUTN

移植回数 回目
 移植担当医師名 **目黒良子**
 フリガナ **メグロヨシコ**

臨床試験への参加 試験名など

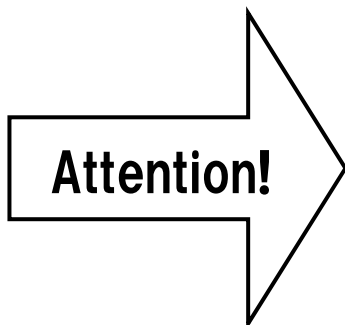
移植時情報
 年齢 歳 身長 cm 体重 kg 活動性感染症 (細菌・真菌)

3. 症例番号 = さい帯血バンク調整時の患者ID
 ★JCBBN症例番号 (各臍帯血バンクから付与された患者のIDを症例番号(臍帯血バンク)として入れてください)

★JCBBN症例番号 (各臍帯血バンクから付与された患者のIDを症例番号として入れてください)

今月 移植100日後となる患者さん 一覧 (敬称略)

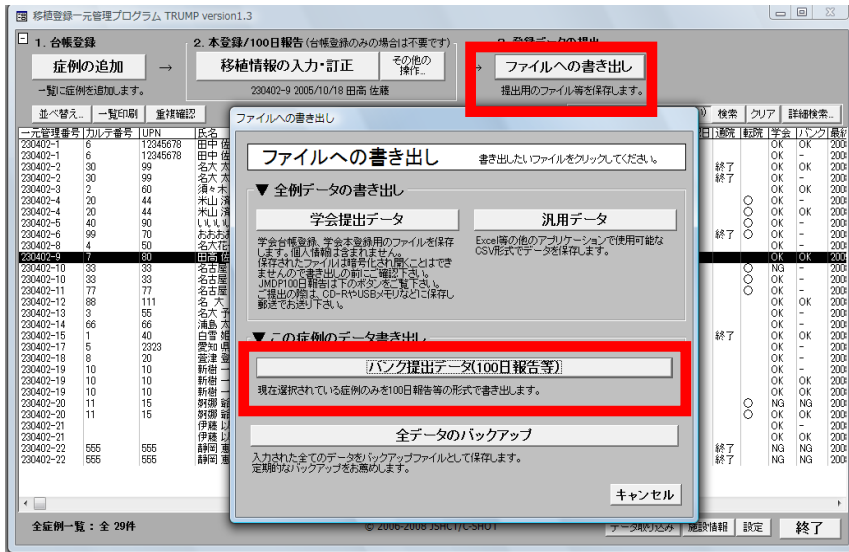
移植日	さい帯血バンク名	症例番号(臍帯血バンク)	患者氏名	臍帯血番号	移植担当医師
2010/4/1	xxx	CBT0720100021	白鳥 太郎	H200909011211B	



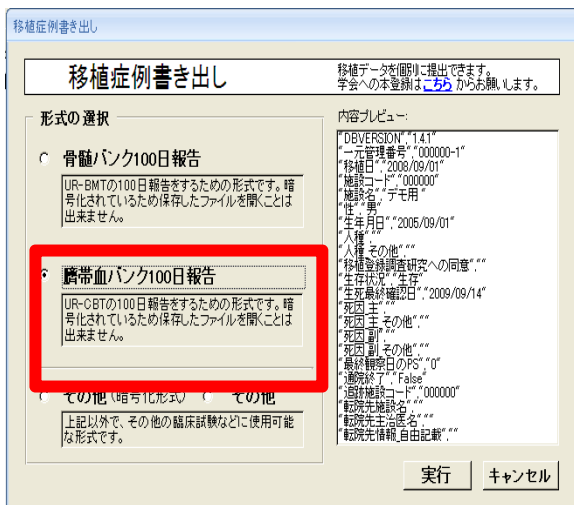
☆JCBBN症例番号
 ・各さい帯血バンクによって症例番号の記載方式が異なるのでご注意ください。 **2010年7月1日以降** 申込分からは**CBTから始まる10桁数字**です。

③書き出したい移植データを選んでください。

「ファイルへの書き出し」ボタン→「バンク提出データ(100日報告等)」ボタン

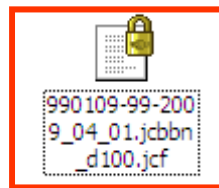
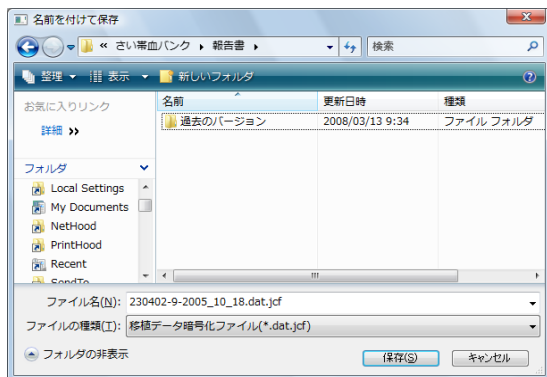


④ファイルの種類を選んでください。(「臍帯血バンク100日報告」ボタン)



⑤指定した場所へ書き出したファイルが形成されます。

⑥指定場所にこのような暗号化されたファイルが保存されます。このファイルは保安上暗号化されているため開けません。

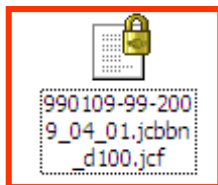


⑦100日報告の書き出したファイルデータを任意の場所から記憶媒体(USBメモリ等)に保存します。

記録媒体



連絡責任医師

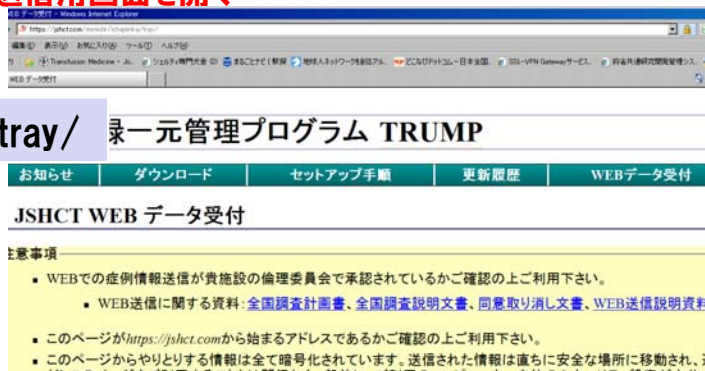


臍帯血移植データ
(暗号化ファイル)
中身は見れません!

⑧WEB登録用PCへ持ち運ぶ。

⑨造血細胞移植学会のホームページのTRUMP送信画面を開く

⑩学会データセンターへweb送信



<https://jshct.com/memdir/ichigenka/tray/> 一元管理プログラム TRUMP

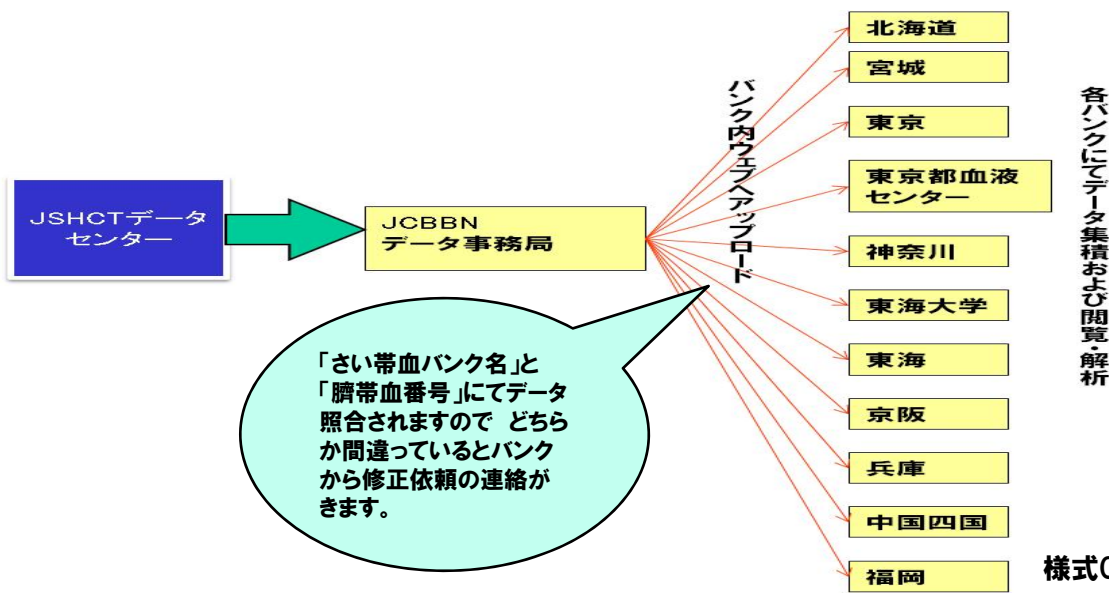
⑩送信が完了すると 学会データセンターより受領メールが届きます。

*なるべくWEB経由での送信にご協力をお願いします。

**ただし、病院の規定等によりweb報告できない施設に関しては記憶媒体(CD-R等)にコピーして学会データセンターに郵送して下さい。送付用CD-Rは必要に応じて添付の「100日報告提出用CD-R依頼書」にてバンク事務局宛てに依頼して下さい。

提出後

⑪日本造血細胞移植学会から日本さい帯血バンクネットワークデータ事務局に移植データが毎月転送されます。以降の流れは下図の通りです。



◆各さい帯血バンクが移植データ受領後に移植施設に正しく届いた場合には正受領書が自動で移植施設責任医師にメールおよびFAXにて送られます。

◆さい帯血番号(ドナー番号)またはさい帯血バンク名が間違っており正しく当該さい帯血バンクに届かなかった場合には「**入力不備と再提出のお願い**」が送られます。

◆提出がない場合にはさい帯血バンクから督促状が送られます。

***なお年度毎に移植報告が集計され翌年の移植登録病院の認定参照に用いられますのでご了承ください。**

このシステムを用いた移植報告回収方法変更

開始年月日：**2010年7月1日より**

対象とする移植データ：2010年4月1日移植分より開始します。またはそれ以前のものも7月1日以降はTRUMPから一元化データセンターに送付してください。**7月1日以降は紙面での報告は原則受け付できません。**

問い合わせ先：

移植データ報告方法全体に関する問い合わせ：

日本さい帯血バンクネットワーク データ事務局

〒105-0012 港区芝大門1-1-3

日本赤十字社本社ビル

メールアドレス:itigenkanri@j-cord.gr.jp

FAX:03-5777-2417

バンクHP: <https://www.j-cord.gr.jp/ja/index.html>

データ内容に関する問い合わせ：

各さい帯血バンク

TRUMPの使用方法的問い合わせ：

造血細胞移植学会 一元化データセンター

電話:052-722-4410 FAX:052-722-4420